

12月(例会) 個人 山行報告書		報告者	江頭	参加メンバー	CL; 亀山, SL; 江頭, 米田さん, 太田さん
		報告日	12月15日		
山域	鈴鹿山脈	山行日	06年12月02日(土)		
山名	鎌ヶ岳				
山行目的	初冬の鎌ヶ岳を楽しむ		コースタイム(天候: 天気図記号)		

配布先
集会: 10
山行: 1
リーダー
原紙: 集
会担当者

ルート図(地図を見て正確に)

2.5万分の1地図: 御在所山[南西]

12月02日(土)晴/曇
07:30 本社正門集合
08:45 鈴鹿スカイラインP着
09:10 P発
10:00 三ッ口谷中間で休憩
10:30 鎌ヶ岳(北東)尾根で休憩
11:00 鎌ヶ岳山頂お汁粉昼食
11:45 山頂発
12:30 武平峠休憩
12:50 表道登山口合流休憩
13:15 P着
13:35 希望荘(温泉)
15:00 発
16:00 本社正門解散

< 山行報告 >

今年の社内登山に参加された米田さん、太田さんと共に、亀山さん企画の山行にご一緒させて頂いた。東名阪四日市ICを下りてすぐコンビニに寄る。西に鈴鹿山脈を見上げればロープウェイ鉄塔が目印の御在所岳、左に本日ターゲットの鎌ヶ岳の勇姿が。新聞によれば日本カモシカセンターの閉園イベントが昨日、小雪交じりで行われたらしい。今日も降るかも？ただ目下のところピークは明瞭。鈴鹿スカイラインの三ッ口谷取付き付近駐車スペースに駐車。見上げれば稜線にガスの流れ早く、[午前中が勝負かな]などと生意気に思ったりする。各自テキパキと準備を整え、登山モードに。スカイライン脇の武平峠へ通じる登山道にガードレールを跨いで降りる。程なく堰堤に出、右を巻いたところで今日の体調をお尋ねし、『全員問題なし』とのことでピークハント決行。堰堤上部で川を渡り三ッ口谷の渓谷へ。樁であろうか？あたりに緑の濃い常緑樹の目だつ渓だ。新しい指道標のおかげで迷いはない。所々で踏みあとが不明瞭となったり、小さく高巻きをしたり、渡渉を繰り返したり、小さなイベントが続くので、単調感はない。ペースはゆっくり、皆さん歯がゆかったかも知れない。この場を借りてお詫びさせていただきます。行程も後半、渓谷と袂を分かち左に斜面を登る分岐だ。手元の奥村氏手書き地図を検討し、頂上直下から北東へ伸びる尾根の取付き地点とみて、こちらを選択。すぐに周りが明るい、ブナ林となり気持ちも軽くなる。熱気を帯びたほほに、気持ちいい冷風を受けながら、段々と傾斜がきつくなる尾根道をアキレス腱を繰り返し引張り試験するがごとく…[切れないでね]。最後の急登である。頂上まであと僅かのところで展望の良く利く地点に出た。四日市と伊勢湾をはるか遠方に望む。残り斜面は楽しむ間もなく、あっけなく頂上ケルン前に飛び出した。そこは思いのほか好天で、風もなく、登山者で結構な賑わい。我々は秘密兵器の小餅入りのお汁粉を楽しんだ。しかし今日、ここに長居は無用であろう、帰路は早速吹き込み始めた寒冷前線通過に伴う南西よりの寒風を受けて武平峠へと下る。



2006.12.02 鎌ヶ岳山頂にて

< リーダー所見 >

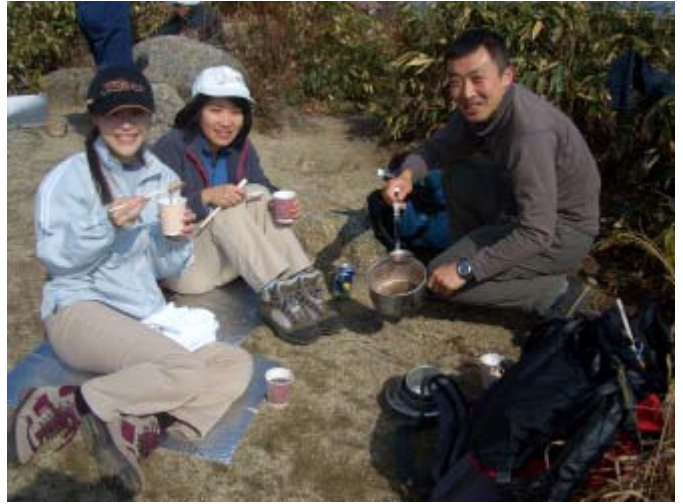
初心者の女性二人を含み、三ッ口谷から鎌ヶ岳へゆっくり歩いて来た。透き通った沢の清流、色鮮やかな落葉たち、衣をすっかり脱いだ木々たち、頬をなでる冷風に、晩秋から初冬へ移行行く、鈴鹿の静かな山を感じた。気づばりの江頭くんと素敵な女性方に同行頂き、楽しい山歩きをさせていただきました。

確認(リーダー)
亀山
06.12.12

作成(報告者)
江頭
2006.12.8



三ッ口谷の渡渉



山頂でお汁粉タイム



鎌ヶ岳山頂ケルン前



頂上直下ガレ坂を下る



御在所岳



初冬の鎌ヶ岳

2006年12月2日(土)



	天気(9時)	最低気温	最高気温
札幌	曇	-2.4℃	0.9℃
仙台	にわか雨	1.5℃	11.0℃
新潟	雪	5.4℃	9.2℃
東京	快晴	6.2℃	16.2℃
名古屋	快晴	4.3℃	14.4℃
大阪	快晴	8.1℃	15.6℃
広島	にわか雨	5.3℃	13.2℃
高知	晴	5.2℃	15.3℃
福岡	にわか雨	8.9℃	12.5℃
那覇	曇	19.5℃	22.3℃

『高松 ひょう』

500hPaトラフが北日本を通過。
地上天気図では日本海の低気圧が北日本を通過。
500hPa-30℃ラインは引き続き日本海～北日本。

09時500hPa気温は、稚内-42.3℃、
札幌-37.5℃、秋田-32.3℃。
21時500hPa気温は、稚内-39.9℃、
札幌-35.5℃、秋田-34.3℃。

積雪(センチ):音威子府(上川)72(16時)、
新穂津(石狩)39(24時)、倶知安(旭川)24(24時)。
東日本の山間部でも積雪が始まる。
2日24時の積雪(センチ)は白川(岐阜)2、
小谷(長野)4、関山(新潟)10、津南(新潟)14、
鏡原(群馬)11などこの方面は3日かけて積雪増加。

活発な対流雲が日本海側を中心に広がり、
山形県で長時間20ミリ以上の強い降水。
12時:釧路(山形)22ミリ、13時:輪島12ミリ。
日降水量は富山、新潟、山形で65～75ミリ。

寒冷前線が西～東日本を通過、
四国瀬戸内側でも時間5ミリ前後の降水。
『ひょう』:高松(13:20、径6ミリ)(強い雷電を伴う)
西日本では昼前から、急速に西～北西風が強まった。
下層寒気も顕著。850hPa-6℃ラインは、
2日09時で朝鮮半島南部、21時には九州北部～中国地方。

『雷』:秋田(12時)、酒田(15時)、
輪島(06時、09時、12時『雷強し』)、相川(12時)、
新潟(08時、09時、12時)、米子(09時)、
金沢(03時『雷強し』、15時、18時)、浜田(09時)。

■初雪:仙台(平年比+10日、昨年比-1日)

■初霜:舞鶴(平年比+4日、昨年比-6日)
豊岡(平年比-2日、昨年比-6日)

■初氷:豊岡(平年と同じ、昨年比-3日)

▲最低気温は9時まで、最高気温は21時までのデータです。

最高気温 東北部～北海道では、
平年を3℃前後下回る気温。
旭川-1.0℃、札幌0.9℃、
盛岡4.1℃、青森5.0℃など。
東日本太平洋側は、
まだ平年差+2℃前後の所が多いが、
西日本の日本海側では気温降下。
松江9.6℃(平年差-3℃)
福岡12.5℃(同-2℃)

最低気温 朝の気温は、
全国的に平年差±2℃以内。
ただし、日本海側を中心に、
一日の最低気温は夜遅くに観測。
2日夜遅く、北海道もほぼ全域で氷点下、
内陸では-10℃を下回っている所も。